

国語科 小学校 6年

単元名 わたしたちの「未来」について
討論しよう
「百年前の未来予測」

本時の流れ（第9時）

本時のめあてを確認する

自分たちの未来予測がしっかり伝わるパネルディスカッションをしよう。

- ・自分の考えと比べながら聞くとともに、友だちの伝え方の良いところを見付けられるようにする。

詳しい指導案はこちら **CLICK**

パネルディスカッションをする

- ・パネルディスカッションの進め方を確認する。
 - ①司会者による説明
 - ②代表による発表
 - ③発表に対する質問と応答
 - ④意見発表
 - ⑤代表者によるまとめの発表
 - ⑥司会者によるまとめ
- ・上記の進め方で、2つのグループがパネルディスカッションを行う。本単元ではビデオに撮り、次時に活用する。

【板書による支援】

☆今回はパネルディスカッションに初めて取り組む児童がほとんどであるため、指導者が意見の要点を板書し、視覚的にもとらえられるようにする。

【メモを取りながら聞く指導】

☆メモのための学習シートを準備し、聞きながら簡潔にメモを取ることができるようにする。

学習の振り返りと交流

- ・パネルディスカッションを通して気付いたことを振り返りカードにまとめる。
- ・振り返りを交流する。
- ・次時の見通しをもつ。

本時の目標

- 自分の立場を明確にして話したり、相手の立場を考えながら聞いたり質問したりする。

【学習課題】

自分たちの未来予測がしっかり伝わるパネルディスカッションをしよう。

【身に付けさせたい「話す力・聞く力」】

- 話の構成を工夫して話す。
- 場に合った適切な言葉遣いで話す。
- 話し手の意図をとらえながら聞く。
- 自分の意見と比べながら聞き、自分の考えをまとめる。

「活用」の力を育てる ポイント

- ・「結論（自分の未来予測）－根拠」の順で話すようにさせる。
- ・友だちと自分の意見の共通点、相違点、質問したいこと、話し方の良い点等、聞くポイントを明確にもち、メモを取りながら聞くようにさせる。
- ・音声は発したと同時に消える特徴を持つ。ここではビデオを活用し、学習のめあてに添って自分の成果と課題をしっかりとつかませる。

パネルディスカッション（討論）のねらい

話し合いには、グループや学級全体での共通理解や問題解決に向けて、相互の知識や考え、意見などを出し合い一つにまとめていく協議と、互いの考えの違いを大事にしながら多くの考えを関係付けていく討論とがある。いずれの場合も、互いの立場や意図をはっきりさせ、話し合いを計画に沿って進めていく必要がある。そのためには、例えば、決められた時間内にまとめられるように、発言内容を簡潔にしたり、発言回数に注意したりすることなどの工夫が必要である。（小学校学習指導要領解説）

単元の流れへ

授業展開例へ

評価問題

HOME